

胃の検査

胃レントゲン

上部消化管
X線検査

… 造影剤のバリウムを飲んで、食道から胃、十二指腸までをX線写真で映し出す検査です。異常がなければバリウムがスムーズに流れますが、ポリープや潰瘍などの凹凸があるとバリウムがはじかれたり溜まったりします。その陰影を観察していきます。検査では、バリウムを胃の中に満遍なく塗るために体を回転して頂きます。体の向きを変えたり息を止めたりといった指示を音声で出していきます。検査についてご不安、ご心配な事があれば事前にお問い合わせ下さい。

前日は 検査時に胃をカラにしておく必要があります。夕食は21時までにはすませて頂き、以降は絶食としてください。夕食は消化の良いものを食べてください。

当日は 絶食・絶飲としてください。(コップ1杯程度の水ならかまいませんが、検査の2時間前までに飲んでください。)タバコも控えてください。粉薬は検査の妨げになるため飲まないでください。ただし、常用薬は検査当日の早い時間に内服してください。また糖尿病の薬、インシュリンは低血糖を起こす危険がありますので内服、注射はしないでください。

検査後は バリウムを排出するためなるべく多くの水を飲んでください。発泡剤を飲む水の中に下剤があらかじめ含まれていますが、夕方位まで排便がない場合は追加でお渡しした下剤を飲んで下さい。検査後はバリウム排出のため白っぽい便が出ます。

●胃X線(バリウム)検査の同意書にある、検査に適しない場合に該当する方は事前にお申し出ください。

●授乳中の場合でも、当院で使用している下剤は乳汁中に移行しませんので通常通りの授乳で大丈夫です。手持ちの下剤を飲まれる場合、市販の薬は移行するものもありますのでご確認の上ご使用下さい。

胃内視鏡

胃カメラ

… 内視鏡を口,または鼻から入れて胃や十二指腸などの内壁を直接観察します。

前日は 検査時には胃をカラにしておく必要があります。夕食は21時までにはすませていただき、以降は絶食としてください。夕食は消化の良いものを食べてください。

当日は 絶食・絶飲としてください。(コップ1杯程度の水ならかまいませんが、検査の2時間前までに飲んでください。)タバコも控えてください。粉薬は検査の妨げになるため飲まないでください。ただし、常用薬は検査当日の早い時間に内服してください。また糖尿病の薬、インシュリンは低血糖を起こす危険がありますので内服、注射はしないでください。

●検査を楽に受けられるように、希望により検査前に鎮静剤の静脈注射を使用します。痛みや咽頭反射の状態に応じて、適時注射の追加を行います。

検査終了後は鎮静剤の効果がある程度取れるまで休んでください。

なお、車(バイクも含む)を運転して帰宅される方は、鎮静剤を使用しないことにしていますのでご了承ください。

●医師の判断により、組織を採取して良性か悪性かを確認する病理組織検査(生検)を実施することがあります。この際、別途料金が発生しますので、あらかじめご了承ください。

裏面もご確認ください→

胃X線（バリウム）検査の同意書

ご本人様控え

受診日

次のような方は検査に適しない場合がありますので、必ず事前にお申し出ください。

- 前日の21時以降や当日の朝に飲食をされた方
- 体調不良で通常通りの健康状態でない方
- 認知症等で撮影の指示に従うことが難しい方
- ご自身で立つ事や、動く事が難しい方
- 聴覚障害の方
- 強度の便秘の方（一週間以上）
- バリウム誤嚥の経験のある方
- 近々（概ね一週間以内）に腹部や腰のレントゲン、CT検査の予定がある方
（バリウムの影響で見え難くなる可能性あり。時間を空ける事で影響は少なくなります）

※ペースメーカーを挿入している方は当院でのバリウム検査はできません。また上記に該当があり事前の申し出がなかった場合、当日の判断で中止になる事があります。持続血糖測定器(リアルタイム等)を装着されている方は、不具合の可能性があるので日程の調整で装着の終り頃にするか、検査時に外して下さい。

< 注意事項 >

嚥下（飲み込み）機能が正常でもバリウムが誤って気管に入る可能性があります。微量であれば痰として排出されますが、発熱や気分不良等あれば医療機関へ受診しバリウム誤嚥についてご相談下さい。

バリウム製剤は水分が不足すると固くなり、排便が難しくなる事があります。検査時の水に下剤が含まれていますが、帰宅後もしっかり水分摂取をして下さい。検査後に追加の下剤をお渡ししますので、必要な方は指示通りに飲んで下さい。通常は2～6時間程度で白っぽい便がでますが、バリウムの色ですので心配ありません。排便状況により1週間程白い便が続くこともあります。通常の便に混ざって排泄されるため、白く見えないケースもありますが排便があれば固まっている可能性は低いので、続けて水分を摂って下さい。

排便が滞る事で、腸閉塞・消化管穿孔・穿孔を起因とする腹膜炎などの副作用の可能性があります。また、稀にバリウムによるアレルギー症状が出る事があります。息苦しい・じんま疹・顔色が悪くなる等の症状や通常と違う体調の変化が出た場合は速やかに最寄の医療機関への受診・治療を受けて下さい。

検査時に腹部を装置で圧迫する撮影があります。胃の詳細をみるのに必要な撮影法ですが、極まれに肋骨骨折の事例が報告されています。検査後も痛みが続くことがあれば医療機関へ受診をして下さい。

< 代替方法 >

胃の検査方法には、バリウムの他に内視鏡を使った上部消化管内視鏡検査があります。内視鏡で消化管内部を観察し、必要であれば組織を採取して病理検査に提出します。経鼻内視鏡では鼻出血をよく認めますが、ほとんどが数分で止血します。食道や十二指腸は壁が薄いために、稀に穿孔（壁に小さな穴が開く事）をきたす事があります。

検査を楽に受けられるように鎮静剤を使って検査を行った場合は、効果がある程度取れるまで休んで頂きます。当日は鎮静剤の影響が残っているため、目が覚めても車・バイク等の運転は控えて頂く必要があります。

広島共立病院院長： 村田裕彦

私は、上記の内容を受け、上記の手術・検査・麻酔を受けることに同意いたします。
また、上記の手術・検査・麻酔の実施中に、緊急かつ医学上の立場から、処置の追加や変更が適切かつ必要な場合には、その処置を受けることについても同意いたします。

広島共立病院院長 殿

年 月 日

ご本人の署名：

〈連絡先〉 〒 731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20

広島医療生活協同組合 広島共立病院 健診センター
電話 (082) 879-1223 FAX (082) 879-6891

CH2858

裏面もご確認ください→

胃X線（バリウム）検査の同意書

(ID)

受診日

次のような方は検査に適しない場合がありますので、必ず事前にお申し出ください。

- 前日の21時以降や当日の朝に飲食をされた方
- 体調不良で通常通りの健康状態でない方
- 認知症等で撮影の指示に従うことが難しい方
- ご自身で立つ事や、動く事が難しい方
- 聴覚障害の方
- 強度の便秘の方(一週間以上)
- バリウム誤嚥の経験のある方
- 近々(概ね一週間以内)に腹部や腰のレントゲン、CT検査の予定がある方
(バリウムの影響で見え難くなる可能性あり。時間を空ける事で影響は少なくなります)

※ペースメーカーを挿入している方は当院でのバリウム検査はできません。また上記に該当があり事前の申し出がなかった場合、当日の判断で中止になる事があります。持続血糖測定器(リアルタイム等)を装着されている方は、不具合の可能性があるので日程の調整で装着の終り頃にするか、検査時に外して下さい。

< 注意事項 >

嚥下(飲み込み)機能が正常でもバリウムが誤って気管に入る可能性があります。微量であれば痰として排出されますが、発熱や気分不良等あれば医療機関へ受診しバリウム誤嚥についてご相談下さい。

バリウム製剤は水分が不足すると固くなり、排便が難しくなる事があります。検査時の水に下剤が含まれていますが、帰宅後もしっかりと水分摂取をして下さい。検査後に追加の下剤をお渡ししますので、必要な方は指示通りに飲んで下さい。通常は2~6時間程度で白っぽい便がでますが、バリウムの色ですので心配ありません。排便状況により1週間程白い便が続くこともあります。通常の便に混ざって排泄されるため、白く見えないケースもありますが排便があれば固まっている可能性は低いので、続けて水分を摂って下さい。

排便が滞る事で、腸閉塞・消化管穿孔・穿孔を起因とする腹膜炎などの副作用の可能性があります。また、稀にバリウムによるアレルギー症状が出る事があります。息苦しい・じんま疹・顔色が悪くなる等の症状や通常と違う体調の変化が出た場合は速やかに最寄の医療機関への受診・治療を受けて下さい。

検査時に腹部を装置で圧迫する撮影があります。胃の詳細をみるのに必要な撮影法ですが、極まれに肋骨骨折の事例が報告されています。検査後も痛みが続くことがあれば医療機関へ受診をして下さい。

< 代替方法 >

胃の検査方法には、バリウムの他に内視鏡を使った上部消化管内視鏡検査があります。内視鏡で消化管内部を観察し、必要であれば組織を採取して病理検査に提出します。経鼻内視鏡では鼻出血をよく認めますが、ほとんどが数分で止血します。食道や十二指腸は壁が薄いために、稀に穿孔(壁に小さな穴が開く事)をきたす事があります。

検査を楽に受けられるように鎮静剤を使って検査を行った場合は、効果がある程度取れるまで休んで頂きます。当日は鎮静剤の影響が残っているため、目が覚めても車・バイク等の運転は控えて頂く必要があります。

広島共立病院院長： 村田裕彦

私は、上記の内容を受け、上記の手術・検査・麻酔を受けることに同意いたします。
また、上記の手術・検査・麻酔の実施中に、緊急かつ医学上の立場から、処置の追加や変更が適切かつ必要な場合には、その処置を受けることについても同意いたします。

広島共立病院院長 殿

年 月 日

ご本人の署名：

〈連絡先〉 〒 731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20

広島医療生活協同組合 広島共立病院 健診センター
電話 (082) 879-1223 FAX (082) 879-6891

CH2858

裏面もご確認ください→

胃X線（バリウム）検査の問診

(ID)

患者氏名 	様	受診日
--	---	---

検査を安全に行うために、以下の質問にお答え下さい。（はい、いいえに○を付けて下さい）一緒にお渡ししている胃の検査についての説明用紙をお読みいただき、分からない事や質問などあれば事前にご連絡ください。

① 胃X線（バリウム）検査を受けたことがある。 【 はい ・ いいえ 】

② バリウム検査後に気分不良となったり、受診した事がある。 【 はい ・ いいえ 】
「はい」と答えられた方はその時の症状をご記入下さい。

症状：

③ バリウムでむせたことがある。（気管に入って咳が出た） 【 はい ・ いいえ 】

④ 日常生活の中で、水分（お茶や水）でむせる。 【 はい ・ いいえ 】

⑤ 日常の排便状況について○印を付けて下さい。

1. 毎日排便あり 2. 便秘気味（2～3日に一度） 3. ひどい便秘症（4日以上に一度）

※1週間以上の便秘の場合、バリウム検査は危険を伴います。基本的には推奨しません。

⑥ 消化管に関わる疾患で現在治療中もしくは既往がある。 【 はい ・ いいえ 】

●憩室・憩室炎 ●潰瘍性大腸炎 ●消化管穿孔 ●腸閉塞 → 該当ある場合**検査不可**

●胃・十二指腸潰瘍（ 才頃） ●虫垂炎（ 才頃）
→完治や手術の時期によって検査可否を判断します。治療中の場合は検査不可

⑦ 上記疾患以外で過去に消化管の手術をした事がある。 【 はい ・ いいえ 】
「はい」と答えられた方は手術部位とその時の年齢をご記入下さい。

手術部位と年齢：

⑧ 高血圧（180/110mmHg以上）である。 【 はい ・ いいえ 】

⑨ 持続血糖測定装置（リブレ等）を装着している。 【 はい ・ いいえ 】

〈連絡先〉 〒 731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20
CH2858 広島医療生活協同組合 広島共立病院 健診センター
電話 (082) 879-1223 FAX (082) 879-6891

裏面もご確認ください→